

文化芸術は まちがつくる

～公共性とは何か？ 市民協働とは何か？～

2020 2/15 (土)

13:30-17:00 第一部 13:30～15:00
第二部 15:15～17:00

第一部 | 文化サポートプログラム〈らぼこらぼ〉
公募企画提案プレゼンテーション

第二部 | パネルディスカッション
「文化芸術はまちがつくる」

会場 愛媛大学 城北キャンパス 共通講義棟A11番教室

定員 200名 (先着順)

アドバイザー&パネリスト

伊藤裕夫 (文化政策研究者、日本文化政策学会 元会長)
小川智紀 (NPO法人STスポット横浜 理事長)
宮下美穂 (NPO法人アートフル・アクション 事務局長)
桃生和成 (一般社団法人 Granny Rideto 代表理事)

進行

戸館正史 (松山ブンカ・ラボディレクター、愛媛大学社会共創学部助教)

お問い合わせ 松山ブンカ・ラボ 電話:070-3795-5403

申込み e-mailまたは 申込フォームにて



左記申込フォームよりお申込ください。
メールの方は件名に「文化芸術はまちがつくる」
参加希望とご記入いただき、
住所・氏名・電話番号をお送りください。

(e-mail) bunkamatsuyama@gmail.com

文化芸術を支えていくためには、どのような方法があるのでしょうか？
公的支援によって多様な文化芸術や表現活動を
守り育てることは可能なのでしょうか？
市民やアーティスト、劇場や美術館、大学や自治体が
共に文化を支え共に文化をつくる社会としていくために
わたしたちができることを考えていきます。

※松山ブンカ・ラボのプログラムはどなたでも参加できます。
申込みをするにあたって不明なことがある方や、
障害をお持ちで不安や心配事のある方はご相談ください。

PROFILE



伊藤裕夫
(文化政策研究者)

(株)電通総研出身を経て、2000年より静岡文化芸術大学教授、2006年富山大学芸術文化学部教授、2011年富山大学を退職。静岡文化芸術大学大学院文化政策研究科、立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科等の兼任講師の他、日本文化政策学会会長をつとめた。現在(公財)舞台芸術財団演劇人会議評議員などをつとめる。専門は、文化政策、アートマネジメント。近著に、「芸術と環境」(共編著・論創社、2012)、「公共劇場の10年」(共編著・美学出版、2010)、「アーツマネジメント概論(三訂版)」(共編著・水曜社、2009)など。



小川智紀
(NPO法人STスポット横浜 理事長)

99年より芸術普及活動の企画制作に携わる。04年、STスポット横浜の地域連携事業立ち上げに参画。14年より現職。現在、アートの現場と学校現場をつなぐ横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局、民間の芸術文化活動を支援するヨコハマアートサイト事務局を行政などと協働で担当し、福祉事業のネットワーク化を模索している。NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク理事、NPO法人アートNPOリンク理事、愛知大学文学部非常勤講師。



宮下美穂
(NPO法人アートフル・アクション事務局長)

専門はランドスケープデザイン。東京都小金井市の小金井アートスポットシャトー2Fにて、ギャラリー、カフェの運営。2011年より小金井アートフル・アクションの事業運営に携わる。小金井市芸術文化振興計画推進事業では、さまざまなアーティストとともに小学校での授業や市民の方々と協働したワークショップなどを行なっている。共著に「文化政策の現在」。



桃生和成
(一社)Granny Rideto 代表理事)

仙台市生まれ、いわき市育ち。大学時代、地域通貨とごみ拾い活動を組み合わせた「シネマ・ストリート・プロジェクト」に参加し、市民活動に出会う。2008年、NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター入職。多賀城市市民活動サポートセンター長を務めたのち、2016年退職。利府町まち・ひと・しごと創造ステーションtsumikiディレクター(2016年～)、シェア型複合施設THE6ディレクター(2016年～)、東北文化学園大学非常勤講師(2018年～)。「復興から学ぶ市民参加型のまちづくり-中間支援とネットワーク-」(創成社・2018年)共著。

松山ブンカ・ラボ 文化サポートプログラム



あなたのアイデアを応援します

松山ブンカ・ラボでは事業プログラム企画案を募集します。

採択された企画案は2020年度に松山ブンカ・ラボ及び企画提案者の共催事業として実施します。

一緒に創り、発信できるみなさんのアイデアをお待ちしています。

(※助成事業、補助金事業ではありません。松山ブンカ・ラボが企画提案者と業務提携を結び共に催す事業です。)

● 応募条件

企画対象

ジャンル、形式は問いません。

(ワークショップ、公演、展示、講座、調査研究等なんでもOK)

※公的資金(行政等の補助金等)が入る予定の企画は応募できません。

企画案に望むこと

- 固定化、定着化した企画ではなく、柔軟にアレンジできる企画内容であること。
- ハットとする新しい視点や価値観を示す企画であること。
- 事業を実施することによって市民や地域との新しい関係性が築かれること。
- 一過性のイベントとして消費される企画ではないこと。

応募対象者

- 営利を目的としない団体、個人(法人格の有無を問いません)。
- 2月15日実施の公開プレゼンテーションに参加できること。
- 松山ブンカ・ラボの活動及び存在に対して肯定的であれ否定的であれ理解があること。

※政党、政治団体や布教活動に結び付ける宗教団体は応募できません。

企画の予算規模

100万円以内

● 公開プレゼンテーションについて

本事業の公開プレゼンテーションは松山ブンカ・ラボ主催のシンポジウム〈文化芸術はまちがつくる～公共性とは何か?市民協働とは何か?〉内の第一部として実施します。

公開プレゼンテーション&シンポジウム

〈文化芸術はまちがつくる～公共性とは何か?市民協働とは何か?〉

日時: 2月15日(土) 13時30分～17時00分

※公開プレゼンは第一部13時30分～15時00分に実施します。

※詳細は裏面をご参照ください。

● 決定のプロセスについて

選考方法

① 一次書類通過

・松山ブンカ・ラボディレクター及びアドバイザーによる話し合いを経て通過企画を決定。

・1月31日に発表します(メールにてご連絡いたします)。

② 二次公開プレゼン

・一時通過企画提案者は公開プレゼンテーション(2月15日13時30分～)をしていただきます。

・プレゼンを踏まえアドバイザーによる話し合いを経て採択企画を最終決定します。

採択数

1団体～3団体程度

● 応募について

募集期間 12月1日～1月24日

応募フォーム

松山ブンカ・ラボのホームページからダウンロードしてください

<https://bunka-lab-matsuyama.com/information/537/>



提出物

- ・企画提案書(応募フォーム①②③に記入したもの)
- ・参考資料(提出しなくても構いません)

応募先

Eメール bunkamatsuyama@gmail.com

郵送 〒790-0005

愛媛県松山市花園町4-9 岡田ビル1階 松山ブンカ・ラボ

※ 直接お持ちいただいても結構です。